

議 事 録

令和7年度 第1回北栄町地域福祉推進計画推進委員会	
日 時	令和7年5月28日（水）13時30分～15時30分
場 所	北栄町農村環境改善センター 2階 大会議室
出席者 （委員）	長曾我部・中原・森田・山下・中井・鎌田・松村・遠藤・田村・向井・田中・山本 （行政）前田健康推進課長
（事務局）	（町）鹿島福祉課長・杉川室長・池田センター長・松嶋室長・菱井室長
	（社協）前田課長・柴山主任・前田主事

○主な意見を抜粋したもの

1：開 会	司会／進行：鹿島福祉課長 ※新委員 鎌田栄子さんの紹介あり	説明・意見者
2： あいさつ	委員長あいさつ	
3：議 事		
※これ以降の司会は、長曾我部委員長		
(1) 令和7年度北栄町地域福祉推進計画の目標設定について		
それぞれの計画の目標設定について説明し、ご意見ご質問をいただいた。		
① 北栄町地域福祉推進計画（本計画） （資料1）		事務局：菱井 社協：柴山主任
Ⅱ（1）	○今年度の目標として `幅広い手段による相談対応（SNS など）について検討を行う、とあるが、SNSは具体的にどのようなものと考えているのか。	長曾我部委員長
	⇒これから検討していきたい。引きこもり支援センターでは、ホームページを活用しライン相談を行っているので参考にしたい。	福祉課：松嶋室長
Ⅱ（3）	○ `よっしゃやらあ会を開催し、必要なサービスや集いの場について協議・検討する、とあるが、その内容は公表されているか。	長曾我部委員長
	⇒必要なサービスについては、会の中でまだ具体的に話し合っていない。	社協：柴山主任
	○話し合いの内容が簡単に分かるものはないか。	長曾我部委員長
	⇒まだない。会の活動や話し合いの内容を町民に伝える方法を検討したい。	社協：柴山主任
	○A I を活用し、キーワードだけでも見える化したらよいと思う。	長曾我部委員長
Ⅱ（4）	○支え愛マップや個別避難計画の取り組みについて、現況はどうか。	鎌田委員
	⇒支え愛マップについては、自治会長を対象に研修会を開催し、少しずつ取り組む自治会が増えてきた。個別避難計画については、障害者手帳交付時に手続きいただくほか、昨年度より医療的ケア児の計画作成に着手している。これからも取り組みを進めていく。	事務局：菱井
	○個別避難計画に関しては個人情報なので扱いが難しいが、まずは各地区の小さな単位から始めるのが取り組みやすいかと思う。	鎌田委員
	⇒支え愛マップは自治会単位である。個人情報を共有することになるので、支援される側の理解も必要である。民生委員も含め、各自治会でマップ作り	事務局：菱井

	にご協力いただきたいと考えている。	
	○自治会内に居住する目耳口が不自由な方については、隣近所で支援する計画にしている。家に入る場合もあるので、話し合いにより鍵をキーボックスに入れてもらう事にした。まずは要支援者の身の周りで話し合うことから始めてはどうか。	山本委員
	⇒個別避難計画に必要な内容が全て盛り込まれているので、ありがたい。	事務局：菱井
	○個別避難計画は、まずは当事者や保護者の希望を聞き取り、当事者目線で進めるべきもののご理解いただきたい。	中井委員
	⇒ご説明の通りである。当事者の視点に立った個別計画支援を進めていく。	事務局：菱井
Ⅱ(2)	○母子家庭・父子家庭ではなく「ひとり親」という表現はよいと思う。	田中委員
I(2)	○ボランティア活動の参加者が固定化し若年層の参加が少ない、とあるが、現在ボランティアを行う団体においても同様である。よい考えがないか。	
	⇒活動回数が学校の内申書に反映されたら中高生はがんばると思う。	山本委員
	⇒連休中にコナン通りで撮影ボランティアをした。その際に中高生を誘ったら参加してくれた。こちらから呼びかけることも大事だ。	田中委員
	⇒福祉関係だけではなく、撮影ボランティアのように、中高生でも取り組みやすい内容で参加を呼びかけたらどうか。	山本委員
	○ぜひ参考にしていきたい。	長曾我部委員長
Ⅲ(2)	○社会参加しにくい人はどのように把握し声がけしているのか。	山本委員
	⇒個別に声がけするのが理想だが、実際は様々な支援者等から情報をいただき対応している。	社協：柴山主任
	○自治会内で社会参加しにくいと思われる方がいるが、声がけしにくい。以前、専門の方（居宅介護支援事業所）が戸別訪問したと思うが、その結果を自治会にも教えてほしい。	山本委員
	⇒世帯訪問の取り組みを進める中で、あらかじめ気になる方がいれば把握してから声がけしている。声がけできない場合は、自治会長や民生委員への確認と情報共有を行っている。	福祉課：松嶋室長
	○人と関わりたくないという方もいると思うので、その気持ちは尊重したい。ただ、その場合でも見守る気持ちは持ち続けたいと思う。	森田委員
② 重層的支援体制整備事業実施計画 （資料2）		福祉課：松嶋室長
	○重層的支援が始まってからの5年間を検証してはどうか。障がいに関する事はまだ何も解決していないと感じるが、少しずつでも解決できたらよい。	中井委員
	⇒おっしゃる通りである。関係機関や周りの方々と連携しネットワークを作っていくことが大事だが、時間がかかることなので継続して取り組んでいきたい。	福祉課：松嶋室長
	⇒解決するのは難しいが、寄り添うことも大事だ。答えは出なくても話を聞くだけでもよいと思う。	山本委員
	○「支え愛連絡会の意義の周知と開催の働きかけを実施する（15自治会）」とあるのは、現状数なのか目標数なのか。	山本委員
	⇒現状と合わせた目標数である。合同研修会等を開催し目標に近づけたい。	社協：前田課長

③ 成年後見制度利用促進計画 (資料3)		福祉課：菱井室長
	○後見制度を受けたい人と後見人とのバランスはとれているか。	田中委員
	⇒現状ギリギリで、今後は後見人が不足が見込まれる状況である。	事務局：菱井
	⇒後見人は、①親族、②専門職、③市民後見人、④社協等の法人の4パターンがあるが、現状は①以外が8割を占めている。北栄町は③の基盤が整っていないので、将来的に不足することが予想される。	福祉課：松嶋室長
(2) 第2期計画の広報・啓発事業について		福祉課：菱井室長
	○10月26日(日曜日)に、「北栄町地域福祉推進フォーラム2025」の開催を予定している。内容は資料の通りである。ご意見を頂きたい。	事務局：菱井
	○フォーラム事業の方向性と目的が定まらなると内容も決まらないのでは。	長曾我部委員長
	⇒町内のコーラスグループに歌を披露してもらうのはどうか。	山本委員
	○どのようなものを展示しているのか。	中原委員
	⇒前は包括支援センターの「こけないからだ体操」や、よっしゃやらあ会の活動等を展示した。	社協：前田課長
	○町からの予算はあるのか	森田委員
	⇒消耗品費のみ予算がある。	事務局：菱井
	○町民が作った野菜や、手作り品の販売ができないか。	森田委員
	○手作りのお菓子や雑貨(カバン)の販売もよいと思う。	山下委員(代理)
	⇒物品販売は参加者にもメリットがあるのでよいと思う。	長曾我部委員
	○親子連れや高校生等、幅広く参加してほしい。ロビーを活用して子供でも参加できるような体験型イベントをしてはどうか。また、活動実践報告で、個人情報に気を付けながら「支え愛マップ」の実践例を聞いてみたい。	中井委員
	○人権フォーラムで見たが人形劇はどうか。また体験型イベントで缶バッジ作りはどうか。花苗をもらったことがあったが周知になると思う。	鎌田委員
	○無料配布物があればよい。夏味ちゃんに来てもらう。ゲームコーナーや相談コーナーを設ける。シルバー人材センターの活用を考えるなどでは。	松村委員
	○予算がなければ協賛を募る方法も考えなければいけないのでは。	田村委員
	○どの年齢でももらって嬉しいもの、例えば花の種等の簡単な無料配布があれば参加者は喜ぶと思う。	向井委員
	○無料配布に関しては協賛を募ってはどうか。以前フラダンスのステージ発表があったが、またどうだろうか。	田中委員
4：連絡事項		
(1) 次回委員会について		事務局：菱井
ご意見を事務局で検討し随時情報提供をしていく。次回委員会は9月上旬開催で、主に地域福祉推進フォーラムについて協議する予定である。		
5：閉 会		
福祉課・鹿島課長の挨拶で終了。		